

音楽の力

岐阜市立厚見中学校 3年

石引 結花

音楽は、人の感情を豊かにするものだ。幼い頃から、ずっと吹奏楽を続けてきた私が、今、思うことだ。

私の母親は、学生時代、吹奏楽部に所属していた。家で、吹奏楽の曲を流しながら家事をするのが日課で、私は、その音楽を隣で聞くのがとても楽しみだった。私は、ずっと音楽を聴いて育った。

小学3年生の終わり頃。私は、吹奏楽を実際にやってみたい、と地域のジュニア吹奏楽団に入団した。すごく楽しいだけのイメージを持っていたが、自分の思ったように音が出せなかった。先生に叱られて、よく泣いては先輩たちに心配されていた。私は、「こんなことなら、入らなければよかった」とひどく落ち込んだ。

ただ、悔しいと思う自分もいた。負けず嫌いな私は、これではいけない、と親に教えてもらいながら家で練習を始めた。コロナ禍で緊急事態宣言が発令され、学校も練習も休みになったときは、チャンスだと思い、毎日毎日、飽きることなく楽器を吹き続けた。

やがて練習が再開される頃には、私は先輩たちに混ざって演奏できるようになっていた。音が周り重ねられるようになった喜びは、忘れられない。

今では、マイホルンは私の相棒だ。名前も付けて、毎日磨いたりと大事にしている。たまに機嫌が悪くなって綺麗な音を出してくれない時もある。けれど、自分のイメージする音を自分の楽器で表現できた時は、楽器と一体になっているような気がして、とても嬉しく思える。

音をぴたりと重ねられた感覚は、とても気持ちがいいし、そのことが、もっと頑張りたい、上手くなりたい、と自分を滾らせる原動力になってくれる。音楽のおかげで、「楽しい」「嬉しい」「心が満たされる」と思える。上を目指して努力することも、誰かに闘争心を燃やすこともできる。そうやって、音楽を通していろいろな感情を知れることが、私にはとても幸せなことに感じられるのだ。

私も、吹奏楽に心を動かされ、感動したことが何度もある。一番心に残っているのは、去年の定期演奏会だ。その演奏会では、親友のように仲の良い、頼れる先輩が卒団していった。その先輩にはソロを吹く機会があって、そのソロを私は隣で聞いていた。長年の集大成ともいえる美しいソロで、私は心を動かされ、深く感動した。日頃の努力や想いの積み重なった音楽は、人を感動させることができるのだ。

私は、音楽が大好きだ。

音楽のおかげで、私は成長し、豊かな経験や感動を味わうことができる。できることなら、これからも、どのような形でも、音楽と付き合い続けていきたい。そして、私の音で、豊かな感動を誰かに届けたい。

もし、今、心が渇いて、元気を失くしてしまっている人がいたら…。是非、音楽に触れてほしい。きっと、音楽が、勇気や、喜びを思い出させてくれると思う。

音楽は、人の感情を豊かにするものだ。私は、これからも音楽とつきあい、音楽を届けていきたいと思う。